

KENCON COOP JOURNAL

【建コンコプジャーナル】2017年1月25日発行 通巻第107号

No. 107

編集／発行

建設コンサルタンツ協同組合

Japan Consulting Engineers Cooperation

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル7階

TEL 03-5956-5598 FAX 03-5956-5599

URL <http://www.kencon-coop.or.jp>

E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

NEWS

「改正品確法」と「設計瑕疵」についての勉強会 東京・大阪で開催



年頭ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

堀 尚義



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

山本 実

コラム

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

村尾 建治



皆で考えよう！
これからの中小建設コンサルタント業

組合員紹介

神奈川県横浜市

日本コルゲート株式会社

CONTENTS.

KEIENCON ECDP
JOURNAL No.107

堀尚義理事長ご挨拶	1
山本実副理事長ご挨拶	2
村尾副理事長コラム 『皆で考えよう! これからの中小建設コンサルタント業』	3
【組合員紹介】日本コルゲート株式会社	4
『改正品確法』と『設計瑕疵』講習会 東京・大阪で開催	5

建設コンサルタント技術者の心得

建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、
社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、
さらに敬愛される人格の形成に精進する。

二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、
常により高い技術力の修得に努力する。

三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、
クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、
地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいふべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合理事長

堀 尚義

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には清々しい新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。昨年中は当組合に一方ならぬご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は東京都と大阪府において「改正品確法」と「設計瑕疵」についての講習会を開催いたしました、それぞれ 100 名近い出席を頂き盛会のうちに終えることができました、また当日参加者より頂いたアンケート調査では、90%以上の参加者から大変有意義な講習会であったと、回答をいただきました。当組合は事業活動の一環として今後も「講習会」を継続していきたいと考えています。

また組合員数も昨年末現在91社となり昨年度末より9社増加しました、ここ数年増加傾向にあります、これは「改正品確法」が建設コンサルタント業に浸透し、瑕疵担保保険加入の必要性が認識されてきた結果ではないかと考えています。



さて、国内では、昨年 4 月に熊本地震によって、甚大な被害が発生しました。そして11月末には博多の地下鉄工事で道路陥没事故が発生しました。

国外では、英国の EU 離脱・韓国大統領の弾劾運動、そしてアメリカでは共和党トランプ政権が誕生しました。国内国外問わず、災害や事故の多発と不確実な政治の流れで全く予想のできない世の中となってきました。

しかし社会情勢が大きく変化しても、社会資本整備に係わる建設コンサルタント業としては、良質な技術サービスを提供する事に変わりないと確信しています。

今年度も役職員一同組合活動に誠心誠意努めてまいりますので、組合の皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いたします、そして組合員の皆様並びに従業員の皆様にとりまして、新しい年が輝かしい 1 年となります事を祈念して、新年の挨拶に代えさせていただきます。

年頭ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合副理事長

山本 実

明けましておめでとうございます。

2017年、新しい年が始まりました。組合員の皆さんと新しい年を恙なく迎えることができ、感謝を申し上げたいと思います。

今年は、堀理事長が第八代理事長に就任(平成23年5月)なされて6年目を迎えます。

この間、組合員数は68社から91社と大幅に数を増やすことができました。これは堀理事長が、常々、組合活動を大切に思う気持ちと、組合員を統制して団結と鞏固ならしめ業界発展のために尽瘁なされてきた賜物と感謝する次第です。

昨年もその思いを受け、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「設計瑕疵について」の講習会を東京と大阪の2箇所で開催し、この業界で働く皆様の知識習得と普及活動に努めて参りました。また同時に地元企業の皆さんと膝を交えた情報交換の場を持つことも出来ました。我われは、その土地の皆さんと直接お会いし、Face to faceで言葉を交わすことにより、より堅固な信頼関係が構築できるものと確信しております。今年はどのような形で組合員の方とお会いできるか分かりませんが、出来るだけ多くの人とお話できる機会を持ち、問題意識が共有できればと考えております。



今年の世界景気は、期待値も込めれば減速に歯止めがかかったように思われます。日本でも、安倍政権5年目を迎え、一億総活躍社会の実現に向けて大きく期待されているところです。

しかしながら、我われ業界にとって、人の問題、特に若手技術者・有資格者の確保等の課題は時代の変化に追随できない状況にあるものと思われます。特に中小企業にとって、そのひずみは極めて大きく、一企業だけでの対応では極めて難しい状況にあります。

我々中小企業にとって厳しい時代環境であればこそ、堀理事長の「助け合うことの大切さ(互助の精神)」は、これからも、そして今以上に組合員にとって大切なものであり、必要とされております。

今年も堀理事長の方針のもと、理事が丸となって組合員の皆さんと共に歩むことができる施策を、誠心誠意、考えて参ります。今後とも、組合員の皆様にはご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成29年元旦

皆で考えよう！ これからの中小建設コンサルタント業

建設コンサルタンツ協同組合副理事長

村尾 建治

国内の現状・人口減少そして少子高齢化

【結果】この業界に入ってくる若者が極端に少なくなっている

【対策】高齢者の活用

- ・ 本人の働く意欲と会社として必要としている能力（健康年齢と必要とされている能力）を見極めて待遇を決め会社で活躍してもらう。
- ・ ロボットの活用
私達が必要としているロボットを私たちの手で（私たちの発想で）どんどん作って活用していく。（のろのろしていると他の業界がなだれ込んでくる可能性大）

【対策】一般の若者を専門家に育てていく

- ・ どこそこの専門教育を受けてきたという若者だけを採用していく時代はすでに終わっているのかも、文系だ理系だと言う前に仕事に興味を持っているかどうかではないか？あとは本人のやる気と会社での教育なのでは。
- ・ 若者はのびしろを持っていることを忘れてはならない。

【教育】社員教育システムの確立

- ・ 育てていくという考え方が育てていくほうも育てられるほうも希薄になっている。
- ・ 社会、会社での人間関係をよりスムーズにするための専門機関があちこちにできてくるのでは？大人数の学校方式で学ぶ場所や個別にマンツーマンで相談にのってくれる塾形式の相談所が出現？働く意味の再構築が行われるのでは。

【地域との関わり】

- ・ 地域のニーズに応える、地域に軸足を置いた建設コンサルタンツ協同組合でなければならない。
- ・ 公共の発注仕事では地域貢献を受注条件にうたってきている。
- ・ 地域貢献をしている中で本当に相手が何を必要としているかが見えてくる。
- ・ 発注者への提案力が上がると同時に社会にとって必要なものと不必要なものが見えてくるのでは。

【女性の社会進出】

- ・ 女性の社会進出が当然の世の中になり、われらの業界でも女性の技術屋さんをチラホラ見るようになってきた。また国、県、市の発注サイドでも女性の技術者歓迎と言う風潮が出始めている。
- ・ 今まで男性目線だけで進んできた社会に、女性の上司、女性の指導者が颯爽とデビューして女性目線でこの社会を変革しようとしている。私たちの業界へも進出してくれた女性達にこの業界の変革の一員と成ってもらいたい。

【働き方の変革】

- ・ 仕事に掛ける時間も長時間労働との絡みで残業が長い会社は社会的評価が低くなっている。
- ・ 社会の変化それに伴う働き方の変化。これらの問題と取り組みながら、若い人達から好かれ後継者がしっかりと育っていく業界。発注者も安心して任すことができる業界としなければならない。
- ・ 長年この業界に入っている社員も、これから入ろうとしている若者も、将来に夢を見ることができ、この仕事に就いてよかったと思える業界にしていきたいものである。



組合員紹介



日本コルゲート株式会社

Japan Corrugate Co., Ltd.

〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目12-4 エクステ新横浜
TEL: 045-478-2320 FAX: 045-471-0931

日本コルゲート株式会社は、NEXCO向けの橋梁以外に地方自治体向けの波形鋼板ウェブ橋に使用される波形鋼板の詳細設計と製作・運搬も行っています。

《最近完成した宮崎県大淀川橋梁と岩手県北上川を渡る平成大橋を紹介します》



橋名 新相生橋(平成27年2月開通)
発注者 宮崎県
受注者 株式会社ピーエス三菱、オリエンタル白石株式会社
仕様 橋長 412.3m
支間割 74.8m+130.0m+130.0m+74.3m



橋名 平成大橋(平成27年9月開通)
発注者 岩手県
受注者 株式会社ピーエス三菱・銭高組共同企業体
仕様 橋長 516.5m
支間割 51.0m+57.0m+57.0m+69.0m+105.0m+69.0m+57.0m+48.6m



『改正品確法』と『設計瑕疵』講習会 東京・大阪で開催。



2016

9/5(月)

CPD単位 2.3

KFC Hall & Rooms

- ・ 東京都墨田区横網1丁目6-1
- ・ 13:30 ~ 16:30 Room111
- ・ ご参加人数 / 100名(満席)
- ・ 講習内容



- 14:00-15:00 第1部 改正された「公共工事の品質確保促進に関する法律」について
【講師】 建設コンサルタンツ協同組合理事 黒田真一郎
- 15:15-16:15 第2部 「設計瑕疵について」
【講師】 ㈱アールアンドティセキリティ代表取締役 鷺澤直樹
- 16:15-16:30 質疑応答



11/16(水)

CPD単位 2.3

天満研修センター

- ・ 大阪府大阪市北区錦町2-21
- ・ 13:30 ~ 16:30 101ホール
- ・ ご参加人数 / 100名(満席)
- ・ 講習内容



- 14:00-15:00 第1部 改正された「公共工事の品質確保促進に関する法律」について
【講師】 建設コンサルタンツ協同組合理事 黒田真一郎
- 15:15-16:15 第2部 「設計瑕疵について」
【講師】 ㈱アールアンドティセキリティ代表取締役 鷺澤直樹
- 16:15-16:30 質疑応答



KENCON COOP JOURNAL

編集／発行

建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒170-0013
東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル7階
TEL. 03-5956-5598 FAX. 03-5956-5599
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>
E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

最新情報は建コンホームページをご覧ください。 <http://www.kencon-coop.or.jp>



ホームページで公開している情報

- ・ 組合概要・事業内容・組合員名簿・入会案内・賠償責任保険
- ・ 建コンコープジャーナルバックナンバー・関連情報
- ・ 50周年記念誌 PDF ダウンロード
- ・ 最近の活動状況動画・リンク集など

組合員様相互の情報交換を容易にするために

- ・ 組合員様ならどなたでもご投稿いただける「コラムコーナー」
- ・ 全国の組合員様の業務紹介および地元 PR コーナーを新設予定

総会や地方勉強会などの活動を動画で公開

- ・ 地方都市での普及活動の様子を動画でご覧いただけます。
- ・ 通常総会など、過去の動画もご覧いただけます。（現在準備中）

組合員の方には、特別価格で
ホームページ作成も承っております。
ぜひ、ご相談ください。

お問い合わせ・ご要望は、建設コンサルタンツ協同組合事務局まで

 webmaster@kencon-coop.or.jp